

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公開番号】特開 2004-331897 (P2004-331897A)

【公開日】平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)

【年通号数】公開・登録公報 2004-046

【出願番号】特願 2003-132514 (P2003-132514)

【国際特許分類】

C 0 9 D 4/02 (2006.01)

B 0 5 D 7/14 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

B 3 2 B 15/08 (2006.01)

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

C 0 9 D 133/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 4/02

B 0 5 D 7/14 G

B 0 5 D 7/24 3 0 2 P

B 3 2 B 15/08 G

B 3 2 B 27/30 A

C 0 9 D 133/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 18 日 (2006.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

分子量 5 0 0 以上の可塑剤を 1 ~ 2 0 質量部添加した場合、耐ベタツキ性，耐屈曲性，耐衝撃性等の塗膜特性をバランスさせる上で、既重合(メタ)アクリル系重合体のガラス転移温度 T_g を - 2 0 ~ 6 0 (好ましくは、0 ~ 4 0) の範囲に調整する。既重合(メタ)アクリル系重合体のガラス転移温度 T_g が - 2 0 を下回ると塗膜の耐ベタツキ性が低下し、逆に 6 0 を超えるガラス転移温度 T_g では塗膜の耐屈曲性，耐衝撃性が劣化しやすい。